2010年質量分析学会同位体比部会研究発表プログラム

2010年11月17日～19日：山水館（別府・鉄輪）

ポスター発表（コアタイム11月17日20:30 – 21:30）　（○は発表者）

P-1 (学)	衝撃によって I-Xe 系の時計はリセットするのか？, ○馬上謙一・角野浩史・長尾敬介(東大院理・地殻化
P-2 (学)	247Cm の半減期が Pb-Pb 年代測定に影響を与えるか, ○山田明憲・杉浦直治・比屋根肇(東大院理・地惑)
P-3 (学)	海水中の銅安定同位体比測定を目指した前処理法の検討, ○高野祥太朗・宗林由樹(京大化研・水圏化学)、平田岳史(京大理・相関地球化学)
P-4	海水中ppbレベルの亜鉛のICP-MS法による定量のための 固相抽出操作法の改良と簡便化, ○本多将俊・藤森英治・渡辺靖二(環境調査研修所), 宮林武司・臼井淳・古庄義明(GLサイエンス)
P-5	炭酸塩構造置換態硫酸の硫黄同位体比分析ための前処理法の確立, ○丸岡照幸・ 上野昂幹(筑波大・生命環境)
P-6	Elemental fractionation behavior and external calibration strategy in laser ablation ICP-MS analysis of trace elements in geological glasses, ○常青・木村純一 (JAMSTEC/IFREE)
P-7	微量親鉄性元素局所定量分析法の開発, ○横山隆臣・平田岳史(京大院理・地惑)、今井崇暢・横山哲也・高橋栄一(東工大院理工・地惑)、鈴木敏(JAMSTEC)、竹山雅夫(東工大院工・材料)
P-8 (学)	誘導結合プラズマ源-共鳴イオン化質量分析法における基礎研究, ○所俊之、渡辺賢一、富田英生、山﨑淳、瓜谷章、井口哲夫(名大院工・マテ理)
P-9	キャビティリングダウン分光法による水同位体の分析, ○丸山誠史・中野孝教(地球研・CCPC)
P-10	ダブルスパイク法によるSr同位体比測定法, ○芳川雅子・柴田知之(京大院理・地球熱(学))・藤井俊行・福谷哲(京大・原子炉)
P-11	山形大(学)に移設したICP-MSの現状と課題, ○山形大(学)ICP-MS利用者グループ(説明者岩田尚能)
P-12	非常に若い火山岩のK-Ar年代をどう測るか, ○岩田尚能(山形大理)
P-13	光ルミネッセンス（OSL)法を用いたインダス文明に関連するインド・ガッガル川流域砂丘の形成年代, ○下岡 順直(京大・地球熱(学)研究施設)・前杢 英明(広島大)・長友 恒人(奈良教育大)
P-14 (学)	インドネシアの鍾乳石に見られる年縞を用いた高分解能年代モデル構築, ○福永卓也・渡邊裕美子・松岡廣繁(京都大(学)院・理・地惑), 中井俊一(東京大(学)・地震研)田上高広・竹村恵二・余田成男(京都大(学)院・理・地惑)
P-15	U-PbとFT年代測定の比較実験に用いた若いジルコン試料, ○檀原有吾・岩野英樹・檀原徹(京都FT)、横山隆臣・平田岳史(京大院理・地球惑星)
P-16	断層ガウジ試料のK-Ar年代測定に向けた取り組み, ○山崎誠子・山田国見(原子力機構)、田上高広(京大・理)、H. Zwingmann(CSIRO)
P-17	Fish Canyon Tuff のFT絶対較正年代とU-Pb年代との比較, ○岩野英樹・檀原徹(京都FT)
P-18 (学)	起源の異なる地球外微小試料に捕獲された希ガス組成の比較, ○赤井田智宏・馬上謙一・長尾敬介(東大院理・地殻化(学))
P-19 (学)	連続リーチング法を用いた始原的隕石のSr安定同位体異常検出の試み, ○伊藤伸朗・横山哲也(東工大院理・地惑)
P-20 (学)	ユレイライト中の炭素質脈における異なる励起レーザーエネルギーでの分析比較, ○長島加奈(阪大院理)、奈良雅之(東医歯大教)、松田准一(阪大院理)
P-21 (学)	NWA801(CR2)中における重水素に富む炭素質物質のその場観察, ○橋口未奈子, 小林幸雄(北大・創成)・圦本尚義(北大院理・自然史)
P-22 (学)	コンドライト中の炭酸塩のMn-Cr年代測定と母天体における水質変成, ○藤谷渉・杉浦直治(東大院理・地球惑星)、佐野有司(東大・大気海洋研)
P-23 (学)	始原的隕石のOs同位体組成と同位体希釈法による強親鉄性元素濃度測定, ○中西奈央・横山哲也(東工大院理工・地惑),仙田量子・鈴木勝彦(JAMSTEC・IFREE),石川晃(東大・教養)
P-24 (学)	火山ガスプルーム中の水素の水素同位体比を指標に用いた阿蘇中岳噴気の遠隔温度推定, 角皆潤・中川書子・小松大祐(北大理院)・○神村奏恵(北大理(学)部)
P-25	パタゴニア北部，超背弧域に分布するソムンクラ台地玄武岩の成因：ウォズリアイトの脱水溶融起因説, ○ 折橋裕二(東大地震研)，元木昭寿(リオデジャネイロ州立大)，ミゲール・ハラー(パタゴニア国立大)，角野浩史・長尾敬介(東大院理)，安間 了(筑波大), CHRISTIMASSY グループ
P-26	付加体石灰岩のSr同位体比変動, ○可児智美(熊大院自然)、小福田大輔(東大院理)、磯崎行雄(東大院総合文化)
P-27	EM1とEM2の起源としてのアダカイト, ○下田玄(産総研地調)
P-28	Missing 40Ar問題について, ○羽生 毅(JAMSTEC/IFREE)
P-29	阿蘇後カルデラ期マグマの微量元素及びSr同位体組成, ○三好雅也・柴田知之・芳川雅子(京大院理・地球熱(学))・佐野貴司(国立科博)・新村太郎(熊(学)大・経)・長谷中利昭(熊大院・理)

ポスター発表（つづき）

P-30 (学)	ウダチナヤキンバーライトの希ガス分析, ○北村文彦・角野浩史・松藤京介・長尾敬介(東大院理)、兼岡一郎(東大地震研)、V.S. Kamenetsky・M.B. Kamenetsky(オーストラリア・タスマニア大(学))
P-31	強親鉄性元素は大規模火成活動によりマントルから放出されるか？, ○石川晃(東大院・総文)、Pearson, D.G. (アルバータ大)、Dale, C.W.(ダラム大)、丸岡照幸(筑波大・生命環境)
P-32 (学)	地球大気中のHe, Ar同位体比変化について, ○荒川裕子・松田准一(阪大院理・宇宙地球)
P-33 (学)	北海道南西部の洞窟「北海洞」における洞窟(学)的研究, ○長谷川航(京大院理・地惑), 澤柿教伸(北大環科院・地球圏)
P-34 (学)	インドネシア・ジャワ島西部の石筍を用いた過去500年間の古気候研究, ○北愛美・渡邊裕美子(京大院理・地惑), 坂井三郎(JAMSTEC), 福永卓也・田上高広・竹村恵二・余田成男(京大院理・地惑)
P-35	古墳壁画の目地漆喰の同位体分析, ○佐野有司・高畑直人(東大・大海研), 中村修子(東大・院理), 佐野千絵(文化財研), 宇田川滋正・建石徹(文化庁)
P-36 (学)	古人骨同一個体内の同位体とアミノ酸分析, ○坂田健(名大院環境)、南雅代・中村俊夫(名大年測セ)、平田和明・長岡朋人(聖マリアンナ医大)
P-37 (学)	毛髪中の炭素・窒素同位体分析による江戸と大坂の食性の違い, ○瀧上舞・米田穣(東大・新領域), 安部みき子(大阪市大・医(学)研)
P-38 (学)	青銅器考古(学)への応用に向けた化(学)分離過程におけるスズ同位体分別の検証, ○山崎絵里香(東工大院理工・地惑),中井俊一(東大地震研)

口頭発表　11月17日（午後）

		座長　折橋 裕二･角野 浩史
16:10 -16:30	O-1 (学)	Geochemistry evolution of peridotites and pyroxenites from the Subcontinental Lithospheric Mantle of Agua Poca volcano, Cuyania Terrane, Argentine, ○Jalowitzki, TL.R., Conceicao, R.V.((Rio Grande do Sur Univ.), Orihashi, Y. (ERI, Univ. Tokyo), Bertotto, G.W.(Univ. La Pampa) and Gervasoni F.(Rio Grande do Sur Univ.)
16:30 -16:45	O-2	火山性硫化物鉱床鉱石の銅同位体比局所分析, ○池端慶・石橋純一朗・鈴木遼平(九大院理)、野津憲治(工(学)院工)、平田岳史(京大院理)
16:45 -17:00	O-3 (学)	シベリア産ダイヤモンドの希ガス同位体組成, ○田子修也・角野浩史・松藤京介(東大院理), D.A. Zedgenizov (ロシア・ノボシビルスク岩石鉱物研究所), 鍵裕之・長尾敬介(東大院理)
17:00 -17:20	O-4	炭酸塩鉱物沈澱反応におけるMg・Ca・Sr同位体分別, ○大野剛(東大院理・地殻化(学))、若林貴宏(東工大・地惑)、平田岳史(京大院理・地惑)、EdwardTipper・AlbertGaly(Univ.Cambridge)
17:20 -18:05	基調講演	別府温泉と同位体(仮題), ○大沢信二(京大院理・地球熱(学))

口頭発表　11月18日（午前）

		座長　角皆潤･丸山誠史
9:00 -9:15	O-5 (学)	LGR社製赤外レーザー吸光計による水同位体分析の高精度化測定に向け た検討, 日下部実・張勁・AjitKumarMandal・萩原崇史・○田中優司・櫛渕みちる・佐野和広・太田朋子(富大院理工)、平山翔子(富大理)、丸山誠史(地球研)
9:15 -9:30	O-6	大気中水素の安定同位体分析法の開発, 〇小松大祐・神村奏恵・中川書子・角皆潤 (北大院理)
9:30 -9:50	O-7	海水中環境基準レベルの亜鉛のICP-MS法による定量のための 固相抽出条件検討, ○本多将俊・藤森英治・渡辺靖二(環境調査研修所), 宮林武司・臼井淳・古庄義明(GLサイエンス)
9:50 -10:05	O-8 (学)	AMS を用いた東京・秋田における大気降下物中129I/127I の経年変化, ○遠山知亜紀・内田悠香・伊藤絵理佳・村松康行((学)習院大)、五十嵐康人(気象研)、松崎浩之(東大)
10:05 -10:20	O-9	太平洋沿岸のラジウム同位体の分析, ○太田朋子・窪田卓見・馬原保典(京大・炉)
10:20 -10:30		♨♨♨♨♨♨♨♨♨　休憩　♨♨♨♨♨♨♨♨♨♨,
		座長　渡邊裕美子･南雅代
10:30 -10:50	O-10	ヒマラヤ岩石中の副成分鉱物のU-Th-Pb年代, ○今山武志・鈴木和博(名大・年測), 竹下徹(北大・理), Keewook Yi･ Deung-Lyong Cho (韓国基礎科研)
10:50 -11:05	O-11	Ar-Ar年代のプラトー年代の評価基準について, ○佐藤佳子(JAMSTEC,IFREE), 兵藤博信(岡山理大・自然研), 熊谷英憲 (JAMSTEC), 田村肇 (JAMSTEC)
11:05 -11:20	O-12	ディスコレーザーによるジルコンU-Pb年代測定の新展開, ○平田岳史・横山隆臣(京大院理)、昆慶明(産総研)、鈴木敏弘(海洋研究開発機構)
11:20 -11:35	O-13 (学)	リダクションイオン検出法を用いたジルコンU-Pb年代測定 -どこまで若いジルコンに迫れるか-, ○横山隆臣・平田岳史(京大院理・地惑)、檀原徹・檀原有吾・岩野英樹(京都FT)

口頭発表　11月18日（午後）

		座長　丸岡照幸･谷水雅治･下岡順直
15:00 -15:15	O-14 (学)	故障した希ガス用質量分析計(MS-II)の復旧過程と原因考察, ○松田伸太郎・馬上謙一・角野浩史・長尾敬介(東大院理・地殻化(学))
15:15 -15:30	O-15 (学)	MC-ICP-MSによるタングステン安定同位体分析における質量差別効果の補正について, ◯深海雄介・横山哲也(東工大院理工・地惑), 木村純一(JAMSTEC), 平田岳史(京大院理・地惑)
15:30 -15:45	O-16 (学)	液中レーザーアブレーションの局所同位体分析への利用, ○岡林識起(東工大院理工・地惑)、横山隆臣(京大院理・地惑)、横山哲也(東工大院理工・地惑)、平田岳史(京大院理・地惑)
15:45 -16:00	O-17 (学)	NANO SIMSを用いたリン酸塩の水素の同位体比とハロゲン量の測定, ○太田祥宏(東大院理・大海研), 高畑直人・佐野有司(東大 大海研), 杉浦直治(東大院理)
16:00 -16:15	O-18 (学)	同一試料の鉛同位体比測定, ○西田京平・魯禔玹・山口将史・平尾良光(別府大(学)大(学)院)
16:15 -16:30	O-19	土器の脂質分析とその応用, ○宮田佳樹・南雅代・中村俊夫(名大・年測), 堀内晶子(ICU・教養(学)部), Lucy Cramp,Richard Evershed(Bristol Univ. OGU),西本豊弘(歴博)
16:30 -16:45	O-20	韓国の百済時代のガラス製品に関する鉛同位体比分析, ○魯 禔玹・平尾良光(別府大(学)),金 奎虎(公州大(学)),田 庸昊(扶文研)
16:45 -17:00		♨♨♨♨♨♨♨♨♨　休憩　♨♨♨♨♨♨♨♨♨,
17:00 -18:00	基調講演	日本の戦国時代における鉛の流通, 魯 禔玹・山口将史・西田京平・○平尾良光 (別府大院文)

口頭発表　11月19日（午前）

		座長　山下勝行･横山哲也
8:50 -9:05	O-21	クロム同位体を使った地球外物質の研究, ○山下勝行(岡山大(学)・地球研)
9:05 -9:20	O-22	コンドライトの耐酸性残渣のOs同位体異常と母天体プロセス, ○横山哲也(東工大・地惑)、Conel Alexander(カーネギー研究所)、Richard Walker(メリーランド大(学))
9:20 -9:35	O-23	SEPは本当に存在しないのか, ○大澤崇人(原子力機構・量子ビーム)
9:35 -9:50	O-24	CAI-コンドリュール混合物質の初生Mg同位体組成と前駆物質の年代(学), ○若木重行・伊藤正一(北大院理)・田中剛(名大年測定セ)・圦本尚義(北大院理)
9:50 -10:05	O-25	コアー間隙水中のδ37Cl,36Cl/Clと希ガス濃度分布から見た間隙水の流動性評価, ○馬原保典・太田朋子(京大炉)・徳永朋祥(東大院・新領域)・長尾敬介(東大院理・地殻化(学))
10:05 -10:20	O-26	放射性炭素を用いたコンクリート中性化の定量的解析の可能性, ○南雅代(名大年測セ)、淺原良浩(名大院環境)、吉田英一(名大博物館)、丸山一平(名大院環境)、武邊勝道(松江高専)
10:20 -10:30		♨♨♨♨♨♨♨♨♨　休憩　♨♨♨♨♨♨♨♨♨,
		座長　大野剛･羽生毅
10:30 -10:45	O-27	SIMSによるPGE分析（予察), ○森下祐一(産総研・地質)
10:45 -11:00	O-28	超高感度極微量質量分析システムの開発, ○江端新吾・石原盛男(阪大院理・質量分析)、内野喜一郎(九大院工)、圦本尚義(北大院理)
11:00 -11:15	O-29	海水中のネオジム同位体比分析とインターキャリブレーション, ○田副博文・井上慶祐(日大院・相関理化)・山形武靖(日大・文理)・永井尚生(日大・文理)
11:15 -11:30	O-30	極微量鉛同位体比測定のためのPlug-in Channeltronの最適化, ○谷水雅治(海洋機構)・松岡淳(マリンワーク)・金沢延行(サーモジャパン)